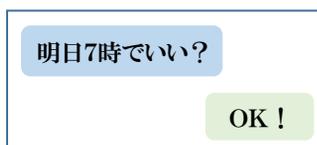
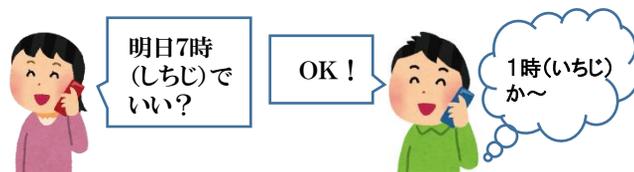


# 非対面コミュニケーションの 特性について

メールやSNSなど文字のみによる非対面のコミュニケーションが日常的に行われるようになりました。文字のみによるコミュニケーションには、直接相手と向き合っていく会話と比べて、メリットとデメリットがあり、その特性を理解せずに行うと、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。

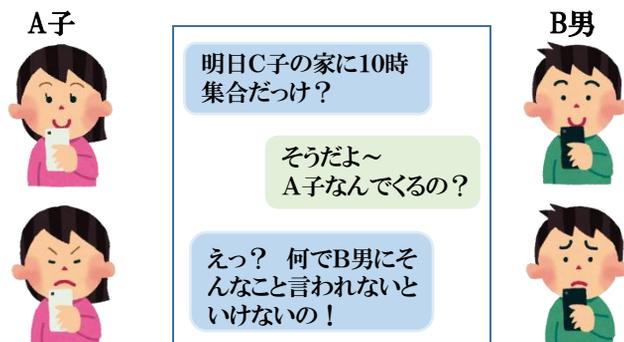
## 正確に情報を伝えることが可能

文字のみによるコミュニケーションのメリットは、正確に情報を伝達することが可能なところです。会話では聞き違いや記憶違いによるトラブルが起こることも多々ありますが、文字にすると送り手・受け手の両者とも、何度も目で見確認することができるため、間違いが起こりにくくなります。



## 文字だけでは微妙なニュアンスが伝わりにくい

一方、メールやSNSといった文字のみによるコミュニケーションにはデメリットもあります。対面でコミュニケーションをとる場合には、私たちは言葉以外に、相手の表情やしぐさ、声のトーンなどを通して会話の内容や意図を理解し判断することができますが、文字だけではそうした情報を得ることができません。子どもたちは、顔文字や(笑)などを加えて感情やニュアンスも伝える努力をしていますが、受け手の気持ちを押し量って書き込んだり、わかりやすい表現を使用したりする配慮が足りなかったばかりに誤解が生まれてしまうことがあります。



※このやりとりでは、B男は電車やバスなどの交通手段を尋ねたつもりでしたが、A子は「なぜ、あなたも来るの(来ないでほしい)」と受け取り、傷ついてしまっています。

## 指導の要点

文字のみによるコミュニケーションにおいては、互いに注意を払ったり気持ちを押し量ったりすることが必要です。学校では、トラブルを未然に防止するため、次の点について子どもたちに指導しましょう。

- ・文字だけでは感情や微妙なニュアンスが伝わりにくいので、状況に合わせて適切なコミュニケーションの手段(電話や会って話をする、など)を使い分けること
- ・メッセージを送る前に必ず読み返し、相手に誤解を与えそうな表現がないか確認すること
- ・送られてきたメッセージは、決して感情的に受け取らず、その発言の真意をよく考えること